

長野県議会85代副議長就任のインタビューに答えて

-2007.6.18-

改選後の5月7日から開催された長野県議会特別会で、北安曇郡選出の宮澤敏文氏(4期)が第85代県議会副議長に選出された。議会改革や地方分権が進む中で、中期五カ年の決定など課題山積の長野県政にあって、大切な時期、就任間もない宮澤副議長に聞いた。

Q. ずばり抱負は

・全国のアンケートで住んでみたい県のベスト3位、働いてみたい県1位だった長野県の経済を中心としたパワーはここ6年の間に確実に衰え、県内の雇用や産業振興では、地域格差が広がっています。

81市町村で暮らす県民が、公平で一定レベルの行政サービスが受けられなければなりません。そのためには81の市町村が自らの潜在能力を見つめ直し、近隣市町村との連携など新たな視点で地域振興を創造する。そのことにより住民の生活が向上する。そんないい循環づくりのため県議会と市町村・議会との連携等々少しでもお役に立ちたいと思います。

・それと私自身道州制には疑問を投げる一人ですが、北海道や九州をはじめ全国的には、道州制の流れが確実にやって来ようとしています。長野県単独の視点で将来を考えるのではなく、交通網の整備や観光政策などを始め多くの政策で、周辺各県との連携が必要とされると思います。関東ブロックや北陸信越ブロックの県・県議会との交流を進めたいと考えています。

Q. 村井県政とはどう向き合いますか

・村井知事は、昨年9月後就任以来、実に精力的に課題に立ち向かわれていると思います。私自身村井知事誕生の先頭に立った人間ですので、個人的にはとてもうれしく思っています。しかし、

田中前知事時代、多くの県民の皆さんの声は、知事と県議会が緊張関係を維持し、県民生活のために切磋琢磨しあう姿勢を求められたと肝に刻んでいます。是々非々ということのニアンスでなく、「食と農業農村振興の県民条例をつかった県議会とそれを受けて数値目標を作成し、知事部局で実行し、成果を挙げる」そんな関係が最も望ましいと考えています。ただ単に、出された料理の評価をするのでなく、メニュー作りからお互いの仕事の領域を尊重しながら、あくまでも県民の生活力向上のための汗をかき合うことが大切だと考えます。

Q. 議会改革が叫ばれていますが

・4年前の改選後58議席中26名の新人議員が当選され、初めて採用された正副議長の立候補制の下で小林・倉田正副議長が選出され、議会改革が本格的にスタートした気がします。そのとき改革の実行部隊であった議会運営委員会委員長に指名され、透明度の上げるため、全ての正式会議は公開にし、今各地で問題となっている政務調査費の領収書の公開など全国のモデルといわれる制度づくりに携わってきました。その後議会の主導で男女参画条例や食と農業農村振興の県民条例が生まれました。それは前議会の58名の議員の力だと思います。

今回改革しなければならないことは、条例をつくるプロセスの決定 議員調査権の制限の問題 監査委員や各審議会委員に議員が入るか否かの大ききは3点だと思います。

Q. 地元大北地域では清水県議(7期のとき)が議長職を勤めて以来の正副議長とのことで、大北地域を回ってお聞きすると懸案解決に期待があつまっている気がしますが。

・正副議長になったからどうのこうのではないと思います。

大北地域は高速交通網から取り残された地域で、住民は緊急・高度の医療が必要なとき、病院まで時間が掛かりすぎる。当然地域高規格はぜひとも望んでおられます。今年度中には大町から糸魚川 IC まで調査路線に指定いただき、雨中の4キロは工事着手したく考えています。関連で安曇橋の立体化、柵池大橋、仮称細野橋の設置や白馬南小前の国道の無散水の導入、国道14

7・148号の歩道整備など汗をかきたいと思います。

また観光事業としては、白馬商工会と共に戸を開けさせていただいたインバウンド事業が一定の成果を挙げてきました。グリーン期のスポーツや芸術文化を基軸とした観光事業の確立。そして松川池田大町の工場誘致など懸案は山積みです。実現に向け必死の汗をかかなければならないと思っています。

議会で再検討すべしとさし戻した高校問題は今年各校ごとに魅力づくりを再検討し来年5月までに作り上げていただきたいと思います。

「まずは走って間を取り考えまた走る」「あるときは走りながら考え走る」としています。

Q. 副議長就任を機会に、とりわけこうありたいというものがありますか。

・就任から数週間、国へ要望したり挨拶に上京したり、議会を代表しての業務に追われていますが少し時間がたてば、スポーツ振興のまちづくり条例を研究し条例化など温めてきた課題を実現したく思います。

Q. フライバーとでは

・昨年から少し休んでいた油絵を始めました。何枚か描きたいと思っています。

子供が野球に夢中なので、応援に出かけられたらと思っています。

Q. 少しお疲れのようでしたが、相変わらずの力強いパワーの源は何ですか。

・地域で住民の皆さんと丸座集会で地域の明日を考えあうことと家内の気配り料理にあると思います。それぞれの方々に感謝しています。